学校だより

姫小通信

妙高市立姫川原小学校
第７号
平成 24 年 11 月 15 日
電話７２-２４０９

メール himegawa@ac.city.myoko.niigata.jp HP http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/himega-s/

ゴールをめざして
～ランRUNフェスティバル～

どの子も必死の表情がすごくいい！

一日延期した小春日和に新光電気さんの駐車場をお借りして、マラソン大会を実施した。当校では「ランＲＵＮフェスティバル」という行事名だ。

マラソンは、山あり、谷ありの人生に例えられる。数分に凝縮されたドラマが今年も展開された。まさに一歩一歩、一人一人の速さは違っていても、歩みを止めない。それが人生の生き方に相通ずる。あの幼げな子どもたちの必死な表情が、一層感動を呼ぶのが「マラソン」なのだと、熱い思いにかられた。

「追い抜くぞ、負けまい」と心に誓い、友達の背を追いかけて走った子ら。相手も受けて立つ勢いで、いつもに見せない底力を見せつける。抜きつ抜かれず並走しながら駆け引きも生まれる。何より大勢の声援がありがたい。自分への応援の声や家の人の顔を見ると、スピードが上がる。ゴールがあるから子どもたちはそこを目指して頑張れる。

負けて悔しがる子ども。悔しかったらうんと泣けばいい。そして、帰り道。競い合って泣いていた一年生が、仲よく歩いていた。

子どもたちの頑張る姿に、大人たちの方が何だか幸せな気持ちにさせてもらった。

はつらつ学習発表会

秋晴れの中　大成功
姫川原地区合同文化祭

十月二十日、地区コミュニティー、小学校ＰＴＡ、保育園共催のもと、合同の文化祭をにぎやかに開くことができました。お天気に恵まれ、大勢の皆様からおいでいただき、ありがとうございました。

午前中のステージ発表を今年は、学校の一部、保育園、地域の二部に分けて行いました。小学校の一部では、一年生の発表から始まり、学年を追いながら、それぞれの特色のある学年の生活科や総合的な活動の中間発表の形です。学習を通して分かったことを劇化したり、リズミカルにダンスや歌をいれたり、大変工夫された発表でした。どの学年をとっても、伸び伸びと楽しそうに発表する姿は、見る人たちに感動を与えました。

一年生では、本物のやぎ「ひまくん」を登場させ、大盛り上がりです。この日はひまくんもおしゃれをし、髪飾りをつけての登場でした。高熱でウンチがいつもと違うと心配した日々から、元気にここまで育ててこられた喜びを表現しました。

二年生は、雪解け遅い春からの畑仕事を「みどりの教室」と題し、音楽に乗って全身で表現しました。自分の野菜を描いた袋をかぶって、一生懸命育てた野菜への愛情いっぱいの表現でした。一年生につなぐメッセージ性のある発表でした。

第２部　地域の部

■保育園（ダンス）

■鳥坂小唄保存会
（ＴＯＫＹＯＮＩＧＨＴ他）

■「だんだんどうも」一座
ＷＩＴＨ壮年会

新井の民話「まぬけ小僧」

２年「みどりの教室」

１年「みんな仲良し　みんな友達」

三年生は、ブドウ学年として、四年生から伝え聞いたスタートを再現しました。ブドウ栽培がもたらした人の縁、広がる世界を、一つ一つブドウのつるでつなげながら表現しました。高士小学校との交流で、鳥坂ブドウへの思いが一段と強くなっていきました。

四年生は、川探検をもとに、ノンフィクションの世界を取り入れた表現でした。親子で探検した源流探検をはじめ、たくさんの見学・調査を経た内容を、「水の精」の存在により、低学年にもわかりやすいものになっていました。

４年「川のひみつ探検隊」

３年「ブドウでつながる
ブドウで広がる」

五年生は、米作りの全行程を経験したその奮闘ぶりを映像や劇で表現しました。アキレス腱断裂で一時足が不自由だった担任役も登場させ、会場が笑いの渦に包まれました。昨年以上に取れ高が多かったのも地域の方々の指導のおかげと、感謝の気持ちを働き者の五年生らしく表現しました。

六年生は、「からむし」の繊維、青そから卒業証書を作るまでの日々を顧みました。四人の少なさをカバーしようと、担任自ら出演し、一緒に劇を楽しみました。各学年で後援会長さんが登場するので、「私が本当の○○です」と演じた教頭先生に笑いが起こりました。

５年　「奮闘！クローバー米」

６年　「卒業証書への道のり」

学校の話題

祖父母参観 一緒に活動

11月6日は一日授業参観日として公開しました。三世代同居の多い地域なので、おじいちゃん・おばあちゃんあっての子育てです。この日は午前中に、交流を中心とした「祖父母参観」を行いました。午後は、人権強調月間の11月として、人権教育、同和教育の授業を公開しました。小春日和のお天気に恵まれ、おじいちゃん、おばあちゃんの出足がよく子どもたちは大喜びでした。

祖父母との交流会は、低・中学年は「昔の遊び」や「かるたとり」など、5年生は、自分たちで育てたコシヒカリの藁を利用し、「なわない」を体験しました。なりわいの匠、岡田さんを師匠に迎え、縄飛びができるほど長く編めるようになりました。６年生は、いよいよ卒業証書づくりの仕上げです。手漉きを体験しました。

山崎建設からのサプライズプレゼント

耐震化工事を終了した10月17日に、工事の現場監督さんをお呼びし、お礼の会をしました。「強い校舎を造っていただきありがとうございました」との全校の子どもたち。それに応えるように、何とＵＡＶ（無人自動自律航空機）による航空写真をサプライズプレゼントして下さったのです。すご～い！空を見上げながら記念の写真が、全校児童に届けられました。